

林産加工吉井木材有限会社

○所在地 / 〒079-1371 芦別市上芦別町56番地 ☎0124-22-4527

- 代表取締役社長 吉井 忠
- 設立年月日 1971(昭和46)年12月
- 従業員数 16人
- 主要製品 一般製材(土木資材、ハウスメーカーの住宅部材など一般建築資材)、背板チップなど



工場内部。素材のトドマツの特徴を瞬時に見極め、用途に合った部材としてカットする作業。熟練の技が必要

わがまちの企業訪問

◇ 6 ◇

空知一の出荷量。林業再活性化へ向け力

1963(昭和38)年に広葉樹チップ工場として操業を開始し、1971(昭和46)年に現在の社名に組織変更しました。

道内産カラマツの製材を手がけたのはじめ、現在の主力はトドマツを素材とする土木資材、一般住宅部材を製造しています。

出荷先は道内のほか、十数年前から関東方面にも出荷。それまで本州では、北海道産部材はほとんど需要がありませんでしたが、徐々にその製品価値が認められるようになり、現在では全体の出荷量の7割が関東方面に送られ、取扱量は空知管内でトップの座にあ

また、吉井社長は「天然林が皆無となった現在では、人工林を守り、育て、林業を活性化するには、関係する業界全体が一致協力して考えていかねばなりません。幸い、北海道産木材の評価が高まっているのに加え、芦別市内にはこれまで培った技術など、その土台ができています。課題は、林業を担う若い世代をどう育てていくか。今市内全体で知恵を出し合っていると

ります。吉井忠社長は、芦別木質バイオマス開発協同組合の理事長も務め、同組合が製造する木質チップは、今年3月から芦別温泉施設に導入された木質チップボイラーの燃料として供給されています。「今後原油価格が大きく下がることは考えにくく、しかも円安傾向にあります。まだデータは出ていませんが、木質チップ燃料の成果は着実に表れるはずですよ」(吉井社長)。

指揮者先頭

指揮者先頭とは、「指揮者は常に皆の先頭に立って行動する必要がある。」という意味で、私が考えた大切になっている言葉です。

No. 29



あるけあるけ運動をはじめ、10月13日の「体育の日」の一連の行事では、多くの市民の皆さんが参加されました

気が付けば今年もあとふた月を残すばかりと、そんな季節になってきました。10月の末から11月にかけてのこの時期、市民の皆さんは、冬の生活に備えるため、大忙しの毎日となることでしょう。

今年是全国的に異常気象と自然災害が目立ちました

が、これから始まる北海道の冬においては、降雪による被害や災害の発生も予想されます。

本市におきましては、市民の皆さんが安心して冬を過ごすことができるよう、除排雪体制に万全を期してまいります。

11月は各種の懸案事項要望のための出張が多くなりますが、体調管理を万全にして、地方の声をしっかりと届けてまいります。

市民の皆様方には、これからの厳しい季節の到来に備えて、ご自愛いただきませう。ご祈念申し上げます。

(平成26年10月23日・記)

芦別市長 清澤 茂宏